

広島労働局長による安全パトロールを実施

広島労働局では、年末年始の労働災害防止を目的に建設業年末年始労働災害防止強調期間として、令和7年12月4日に建設業労働災害防止協会広島県支部と合同で、「令和6年度安芸バイパス熊野川高架橋第3PC上部工事」（広島市安芸区）において、安全パトロールを実施しました。



パトロールの冒頭、宮原労働局長から、建設業における労働災害発生状況等について説明があり、年末年初は工事が輻輳し、寒い中での作業から様々なリスクがあることを認識して、現場の安全管理を徹底して頂きたいと、呼びかけが行われました。

現場では、墜落・転落災害防止対策として手すりや開口部養生の確実な設置、重機作業区域の明確化、資材置場の整理整頓など、各種安全対策が丁寧に実施されていました。



広島労働局長による激励



パトロール終了後には講評があり、年末年始に向けて現場が一丸となった災害防止対策の徹底をお願いしました。

